

貸借対照表

e-Net 少額短期保険株式会社

平成22年度（平成23年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 545,831 】	【流動負債】	【 313,655 】
現金及び預金	316,409	支払備金	6,114
貯蔵品	7,603	責任準備金	107,883
未収保険料	83,084	未払金	5,940
未収金	5,353	代理店借	43,759
代理店貸	2,822	再保険借	125,413
再保険貸	115,597	仮受金	22,775
仮払金	14,851	預り金	8
未収収益	111	リース債務	985
【固定資産】	【 49,733 】	未払法人税等	778
（有形固定資産）	（ 4,146 ）		
リース資産	1,141	負債の部合計	313,655
その他の有形固定資産	12,512	純資産の部	
減価償却累計額	-9,506		
（無形固定資産）	（ 23,782 ）	【株主資本】	【 282,591 】
電話加入権	16	（資本金）	（ 207,000 ）
ソフトウェア	23,766	資本金	207,000
（その他資産）	（ 21,805 ）	（資本剰余金）	（ 177,000 ）
差入保証金	1,401	資本準備金	177,000
長期前払費用	3,864	（利益剰余金）	（ -101,409 ）
敷金	540	繰越利益剰余金	-101,409
供託金	16,000		
【繰延資産】	【 682 】	純資産の部合計	282,591
繰延資産	682	負債及び純資産の部合計	596,246
資産の部合計	596,246		

損益計算書

自 平成 22 年 4 月 1 日
至 平成 23 年 3 月 31 日

(単位：千円)

科 目	金 額	額
【経常収益】		828,955
収入保険料	513,577	
再保険金収入	46,237	
再保険手数料収入	228,615	
再保険返戻金収入	19,101	
その他の再保険収入	19,520	
利息配当金収入	312	
IBNR 支払備金戻入	392	
雑収入	1,199	
【経常費用】		485,710
支払保険金	64,137	
損害調査費	1,916	
解約返戻金	27,271	
再保険料	362,396	
支払備金繰入	4,599	
責任準備金繰入	21,099	
異常危険準備金繰入	4,290	
合 計	(485,710)	
保 険 総 利 益		(343,245)
【営業費及び一般管理費】		417,507
営 業 損 失		(74,262)
経 常 損 失		(74,262)
【特別利益】		1,741
前期準備金修正益	1,741	
【特別損失】		24,667
過年度損益修正損	24,667	
税引前当期純損失		(97,188)
法人税及び住民税等		1,008
当 期 純 損 失		(98,195)

個 別 注 記 表

自 平成 22 年 4 月 1 日

至 平成 23 年 3 月 31 日

I. 重要な会計方針に係る事項

1. 資産の評価基準及び評価方法

棚卸資産の評価基準及び評価方法 最終仕入原価法

2. 固定資産の減価償却の方法

不動産及び動産 定率法

無形固定資産 定額法

3. 当期末における支払備金及び責任準備金の内訳は次のとおりです。

[支払備金]

普通支払備金（出再支払備金控除前）	19,241,915 円
<u>同上にかかる出再支払備金</u>	<u>13,439,342 円</u>
差引（イ）	5,802,573 円
I B N R 支払備金（出再 I B N R 支払備金控除前）	1,039,643 円
<u>同上に係る出再支払備金</u>	<u>727,750 円</u>
差引（ロ）	311,893 円
<u>計（イ＋ロ）</u>	<u>6,114,466 円</u>

[責任準備金]

普通責任準備金（出再支払備金控除前）	321,468,197 円
<u>同上に係る出再責任準備金</u>	<u>225,021,712 円</u>
差引（イ）	96,446,485 円
異常危険準備金（ロ）	11,436,321 円
<u>計（イ＋ロ）</u>	<u>107,882,806 円</u>

4. リース物件の所有権が借主の移転するもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっています。

5. 消費税等の会計処理は税込方式によっています。

6. 1株当たり純資産額は、1,935.55円であります。

II. 貸借対照表に関する注記

1. 有形固定資産の減価償却累計額 9,506,415 円

2. 貸借対照表に計上した固定資産のほかリース契約により使用している重要な固定資産としてソフト・ウェアがあります。

3. 会計方針の変更

当期より再保険手数料収入の未収入金分を未収金から再保険貸で処理しています。

Ⅲ. 損益計算書に関する注記

1. 収益及び費用の計上基準

①収益の計上基準は、発生主義に基づく実現主義で計上しています。具体的には保険始期ベースで計上しています。

②費用の計上基準は、発生主義で計上しています。

2. 収益及び費用に関する金額

①正味収入保険料は、**162,530,831** 円です。

②正味支払保険金は、**19,815,885** 円です。

③支払備金繰入額（△は支払備金戻入額）の内訳は次のとおりです。差額補充法によって積み立てています。

支払備金繰入額（出再支払備金控除前） **15,331,590** 円

同上に係る出再支払備金繰入額 **10,732,114** 円

差引（イ） **4,599,476** 円

I B N R 支払備金戻入額（出再 I B N R 支払備金控除前） **△1,307,896** 円

同上に係る出再 I B N R 支払備金戻入額 **△915,527** 円

差引（ロ） **△392,369** 円

計（イ＋ロ） **4,207,107** 円

④責任準備金繰入額（△は責任準備金戻入額）の内訳は次のとおりです。差額補充法によって積み立てています。

普通責任準備金繰入額（出再責任準備金控除前） **70,326,725** 円

同上に係る出再責任準備金繰入額 **49,227,726** 円

差引（イ） **21,098,999** 円

異常危険準備金繰入額（ロ） **4,290,320** 円

計（イ＋ロ） **25,389,319** 円

3. 利息配当金収入は、主に八十二銀行の定期預金に係る預金利子であります。

4. 1株当りの当期純損失は、672.56円であります。

Ⅳ. 株主資本等変動計算書に関する注記

1. 当期事業年度の末日における発行済株式の数14万6千株であります。

2. 繰越利益剰余金の表示に誤りがありましたので、その金額をその他の変動事由により修正してあります。

V. 関連当事者との取引に関する注記

関連当事者との取引は以下のとおりです。

1. 関連当事者の概要及び当社との関係

- ①名 称 あいおいニッセイ同和損害保険株式会社
②議決権の所有割合 38.4%

2. 取引により発生した債権債務に係る主な科目別の期末残高

(単位；千円)

科 目	残 高
再保険手数料(収益)	228,615
回収再保険金(収益)	46,237
再保険返戻金(収益)	19,099
再保険料(費用)	362,396
出向負担金(費用)	5,330
再保険貸(債権)	115,225
再保険借(債務)	125,412